

ヒルゲンドルフマイマイ *Aegista hilgendorfi* (Kobelt)

【選定理由】

愛知県では知多半島や名古屋市、瀬戸市などに分布するが、生息地はいずれも散見である。知多半島では生息数が少なく、名古屋市や瀬戸市では確認自体が稀である。県下の分布域が比較的広いので、未確認の生息地もあると考えられ、直ちに絶滅の危険性があるとは判断しなかったが、今後の減少傾向を注視する必要がある。愛知県下では、分布の縁辺部であることから、個体数密度が低く稀な種であり、里山的環境から平地の雑木林や社寺林などに分布が限定されることから、開発の影響による減少が懸念され、愛知県下では、将来的に絶滅の危険性を考慮すべき種と判断される。

【形態】

殻長 8.3~10.6 mm、殻径 10.9~13.9 mm 程度の低円錐形の小形種である。愛知県下では、知多半島の個体がやや大形で、名古屋市~瀬戸市にかけての個体は小形傾向にある。殻は薄く、殻表は茶褐色の殻皮で覆われる。次体層にはきわめて弱い角を持つもの、体層周縁は円く、臍孔は殻径の 1/5 程度の幅で明瞭に開く。軟体の頭部背面は淡黒色である。

【分布の概要】

【県内の分布】

南知多町、名古屋市、瀬戸市に生息記録が知られる(早瀬, 2001, 2008; 木村, 2002; 川瀬, 2013)。

これまでに鳳来寺山や石巻山・嵩山の分布記録などもあるが、実体の不明な記録であり、今回は本種の記録から除外した。

【世界および国内の分布】

日本固有種。北陸地方(コオトメマイマイやチャイロオトメマイマイとされるが、同種と考える)のほか、伊吹山系~養老山系~鈴鹿山系にかけての岐阜県や滋賀県、三重県などに分布し、(財団法人 自然環境研究センター, 2010)、これらの地域の、特に石灰岩地には多数の個体が確認される。

【生息地の環境/生態的特性】

愛知県内での本種の確認地の環境は、平地から里山にかけての雑木林である。名古屋市では大きな公園や神社の林で確認される。主に低木の葉裏に付着する個体などが確認される。食性については植物食で、草本の若葉や分解の進んだ落葉などを食べて生活していると推測される。

【現在の生息状況/減少の要因】

南知多町では、少数ながら、まとまった個体数からなる個体群が維持されているが、名古屋市や瀬戸市では、確認例自体が稀である。愛知県は分布の縁辺部であるため、もともと個体数密度が高くないことが考えられるが、愛知県下では平地から里山にかけての雑木林が本種の主生息地となっているため、名古屋市を中心に開発が進み、本種の生息環境が失われつつある可能性も高いと考えられる。近年の異常気象に起因する夏季の高温や豪雨なども本種の生息に大きな影響を及ぼすと考えられる上に、現状の生息地周辺での環境の悪化や開発行為などがあれば直ちに個体群消滅につながる。

【保全上の留意点】

現在、本種の生息が確認される地域の自然環境を維持することが重要である。本種の生息する、限られた環境を開発しないことが最も重要である。

【特記事項】

鳳来寺山自然科学博物館に所蔵される天野景従コレクションには嵩山産のウスイロヒルゲンマイマイとされる標本が存在するが、ヒルゲンドルフマイマイとは明らかに異なる種であった(イシマキシロマイマイ 594 頁を参照)。

これまではオトメマイマイ属 *Trishoplita* とされてきたが、分子系統解析の結果、オトメマイマイ類にはおおむねのまとまりがあるものの、オオベソマイマイ属 *Aegista* のクレードには包括されてしまう結果となり、オトメマイマイ属は他のいくつかの属と共にオオベソマイマイ属の異名のひとつとなった(Hirano et al., 2014)。

【引用文献】

- 早瀬善正, 2001. 知多半島に生息するヒルゲンドルフマイマイ, かきつばた, (27): 10-11.
早瀬善正, 2008. 愛知県瀬戸市定光寺周辺における陸産貝類相調査, かきつばた, (33): 29-39.
Hirano, T., Kameda, Y., Kimura, K. & Chiba, S., 2014. Substantial incongruence among the morphology, taxonomy, and molecular phylogeny of the land snails *Aegista*, *Landouria*, *Trishoplita*, and *Pseudobuliminus* (Pulmonata: Bradybaenidae) occurring in East Asia. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 70: 171-181.
木村昭一, 2002. 熱田神宮の貝類相, かきつばた, (28): 24-25.
川瀬基弘(監修), 2013. なごや生きものの一斉調査 2012・陸貝編 - なごやで探そう! カタツムリ -, 29 pp. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
財団法人 自然環境研究センター, 2010. ヒルゲンドルフマイマイ, p.996. in: 自然環境保全基礎調査 日本の動物分布図集, 1070 pp. 環境省自然保護局 生物多様性センター, 富士吉田.

【関連文献】

- 東 正雄, 1995. 原色日本陸産貝類図鑑 増補改訂版, xvi + 80pls. + 343pp. 保育社, 大阪.
環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編), 2014. レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 6 貝類, 口絵 8 + xliii + 455pp. ぎょうせい, 東京.

(早瀬善正)



名古屋市熱田区, 2002年2月17日, 木村昭一採集